



平成 28 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 神姫バス株式会社
代表者名 取締役社長 長尾 真
(コード：9083 東証第 2 部)
問合せ先 企画部長 横山 忠昭
(TEL：079-223-1247)

神姫バスグループ中期経営計画（2016 年度～2018 年度）の策定について

当社グループではこの度、2016 年度から 2018 年度までを計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

1. 計画期間

2016 年度から 2018 年度までの 3 か年

2. 基本方針

- (1) 既存エリア、成熟事業の体質強化による利益率向上
- (2) 成長エリア、成長事業への積極投資

3. 数値目標

	2015 年度予想	→	2018 年度計画
売上高	436 億円		465 億円
営業利益	28 億円		31 億円
経常利益	30 億円		33 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	20 億円		21 億円
経常利益率	6.9%		7.1%
ROA（総資産経常利益率）	5.5%		5.5%

4. 設備投資計画

計画 3 か年で約 150 億円

5. 主要セグメント別施策

(1) 自動車運送

- ・安全確保
- ・利益率向上
- ・お客様利便性の向上

(2) 不動産

- ・安定利益の確保
- ・建築、建設部門の強化

(3) 旅行・貸切

- ・インバウンド対応
- ・シニア向けサービスへの注力
- ・顧客サービスの向上
- ・エリア拡充

以上

(添付資料) 神姫バスグループ中期経営計画 (2016▶2018)



神姫バスグループ

中期経営計画（2016▶2018）

神姫バス株式会社



目次

1. 前中期経営計画の取り組み
2. 当社グループを取り巻く事業環境
3. 基本方針
4. 数値目標
5. 設備投資計画
6. セグメント別施策
7. 安全確保に関する取り組み



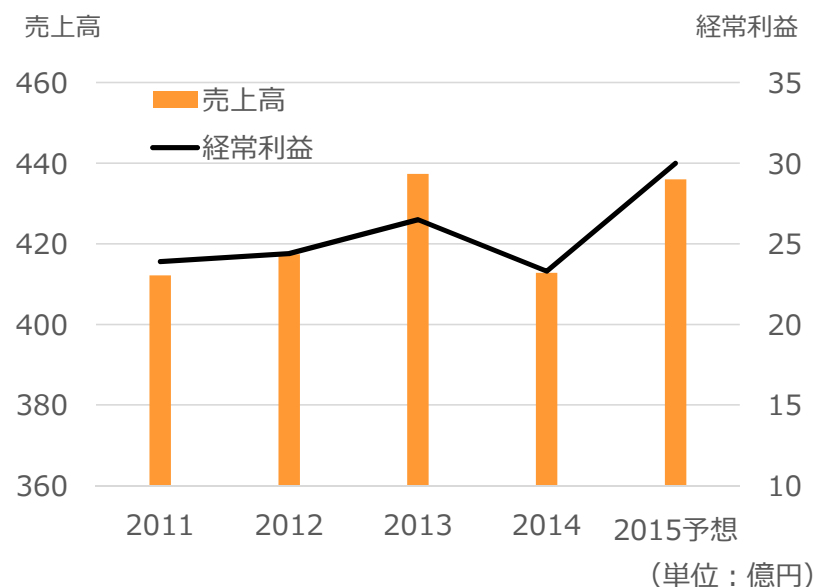
前中期経営計画の取り組み

当社グループは基幹事業であるバス事業の質・量両面での拡充と、生活関連事業への展開を積極的に進めるとともに、事業のスクラップ&ビルドや賃貸用不動産の入れ替えによる収益性の改善、産・官・学との連携による新たな事業機会の模索に取り組んでまいりました。

- バスロケーションシステム、BRT（連節バス）の導入
- 遊技場事業の売却
- 旅行・貸切事業の組織再編
- 姫路駅前賃貸ビル（姫路ターミナルスクエア）の竣工
- 兵庫県立大学、兵庫県園芸・公園協会や各自治体との提携 等

その結果、平成28年3月期の当社グループは過去最高益を計上する見込みとなっております。

売上高・経常利益の推移



当社グループを取り巻く事業環境

人口動態

少子高齢化による総人口減少と高齢者比率の上昇
(労働人口減少と市場規模縮小)

政策

交通政策基本法施行による地方交通のあり方見直し
まち・ひと・しごと創生法施行による地方創生の動き
貸切バス新運賃・料金制度の開始
消費税増税

市場動向

安全意識の高まり
労働市場の逼迫
原油価格、為替の変動

訪日外国人の増加
ASEAN諸国の成長

当社グループを取り巻く事業環境は左記の通りであり、当社グループは既存事業における生産性の向上と成長分野における事業機会の確実な取り込みによる、安定的利益の確保と新たな市場開拓が必要であると認識しております。

事業環境に合わせて事業ポートフォリオを最適化し、当社グループが今後も持続的に成長していくため、本中期経営計画を策定いたしました。



基本方針

(1) 既存エリア、成熟事業の体質強化による利益率向上

- 安全性と利便性両面での徹底したお客様目線によるサービスづくり
- 既存事業のターゲット、ブランド、サプライチェーン等の見直し、最適化
- シニア層の多様なニーズへの対応
- 各自治体との連携強化による地方創生に向けたビジネスモデル構築
- ムダ、ムリ、ムラの排除

(2) 成長エリア、成長事業への積極投資

- 神戸、阪神間における乗合バス事業、貸切バス事業、旅行・観光事業、不動産事業への注力
- 首都圏に向けた高速バス路線の充実
- バンコクオフィス設置とタイを中心としたASEAN諸国からの旅行客送客、現地の路線バスコンサルタント業等の展開



数値目標

	2015年度予想		2018年度計画
売上高	436 億円		465 億円
営業利益	28 億円		31 億円
経常利益	30 億円	▶	33 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	20 億円		21 億円
経常利益率	6.9 %		7.1 %
ROA（総資産経常利益率）	5.5 %		5.5 %



設備投資計画

投資額は計画3ヵ年で約150億円

セグメント	設備投資額	主な内容
自動車運送	60億円	車両代替、新型車両投入、安全関連投資、車庫新設
不動産	45億円	収益物件取得、姫路駅前開発（キュエル姫路（飲食ビル）他）
旅行・貸切	20億円	車両増車・代替、新型車両投入、ITシステム導入
その他	25億円	飲食等店舗展開、M&A・成長投資
合計	150億円	



セグメント別施策 ▶ 自動車運送

利益率向上

- ビッグデータを活用した効果的・効率的な収益路線の拡充と不採算路線の再編
- 自治体が抱える交通課題解決に向けた提案
- 成長領域として高速バスの強化、神戸エリアの拡充

お客様利便性の向上

- アプリケーション開発による運行情報等各種サービスの提供
- バスロケーションシステム表示機の順次導入拡大とシステム活用による新サービス提供
- 多言語案内の拡大、同時通訳システムの導入、Wi-Fi環境整備



連節バスによるBRT（バス高速輸送システム）



バスロケーションシステム表示機



ICカード乗車券NicoPa（ニコパ）



セグメント別施策 ▶ 不動産

安定利益の確保

- 賃貸物件の入れ替え（新規物件の取得と老朽化物件の売却）
- 主要賃貸物件の高稼働維持
- 姫路駅前開発計画の推進
- 不動産仲介や売買の取扱件数及び管理物件数の増加

建築・建設部門の強化

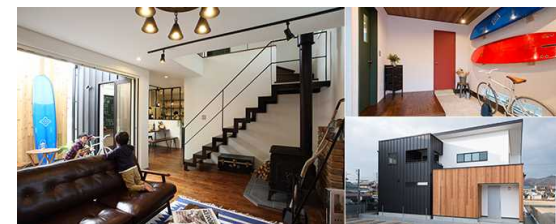
- 戸建住宅における明確なコンセプトによる訴求力向上
- リフォーム、リノベーションへの注力
- 公共工事への入札拡充



姫路駅前商業施設「キュエル姫路」
(2016年4月オープン予定)



姫路駅前オフィスビル
「姫路ターミナルスクエア」



姫路市内の新コンセプトモデルハウス



セグメント別施策 ▶ 旅行・貸切

インバウンド対応

- ・ 訪日外国人向けツアー商品販売と誘致に向けた海外代理店との関係強化
- ・ バンコクオフィス開設によるタイはじめASEAN諸国からの旅行客送客

シニア向けサービスへの注力

- ・ 多様なシニア層に向けた旅行商品造成

顧客サービスの向上

- ・ 高付加価値ツアーブランドの再構築と市場浸透、専用新型車両の投入
- ・ 会員サービスの拡充
- ・ バスガイド、アテンダントによる差別化されたツアー提供

エリア拡充

- ・ 神戸車庫新設による神戸市中心部からの輸送力増強



訪日外国人向け
ツアーパンフレット



9列仕様のゆったりバス「Yuttarina36」



その他のセグメント施策 1

車両物販・整備

- 整備技術の向上による輸送の安全性確保
- 事業承継問題を抱える同業他社のM&A

業務受託

[車両運行管理]

- 安全性とサービス向上によるブランディングとエリア拡大

[経営受託]

- 多様なサービス提案による指定管理施設受託の拡大

[介護]

- 利用者ニーズに応じた介護サービスと設備の充実



神姫商工本社工場



姫路市宿泊型児童館「星の子館」



サービス付き高齢者向け住宅「青山の郷」



その他のセグメント施策 2

レジャーサービス

[飲食]

- サービスエリア事業の安定運営
- 新規出店と既存店舗のリブランディング
- 農業事業や地域との連携によるオリジナル飲食店モデルの開発

その他

[広告]

- ビッグデータ活用と広告媒体（バス、ウェブ、DTP等）ミックスによる提案

[海外]

- バンコクオフィスを拠点としたASEANにおける神姫バスグループのプレゼンス向上と収益事業の構築

[子育て支援]

- 小規模保育施設を中心とした子育て支援施設の運営拡大



SALVATORE CUOMO & BAR 姫路
(2016年4月オープン予定)



バス車内デジタルサイネージ



姫路駅前保育園ニコパらんど



安全確保に関する取り組み

当社グループでは安全確保に関する基本理念『安全は全てに優先する』に則り、運輸安全マネジメントシステムの効果的な運用と継続的改善に向けた取り組みを実践しております。

具体的な取り組みは以下の通りです。

[現状の取り組み]

- ・教育制度の拡充（乗務員階層別研修、高齢者・障がい者の介助研修など）
- ・睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査等の健診実施
- ・衝突軽減ブレーキ、車線逸脱警報、ドライブレコーダー等の先進技術導入
- ・安全監理官による営業所巡視、指導
- ・整備士による乗務員教育（車両点検、異常察知等）

[本中期経営計画での新たな取り組み]

- ・健診の充実（脳ドック、心機能検査の追加）
- ・先進技術の順次導入拡大（衝突軽減ブレーキ等）
- ・研修センターや運転練習場のあり方見直しによる教育制度の充実



安全運転教習車



NASVAネットによる運転適性診断



運行管理者による安全研修



安全運行を支える車両整備



參考資料



グループ企業理念・ビジョン・宣言・企業行動憲章

企業理念 地域共栄 未来創成

ビジョン 感動を創造する企業グループ

宣言 ・私たちは、自ら感じ、気づき、行動します
・私たちは、お客様や社会の期待を超えるサービスを提供します

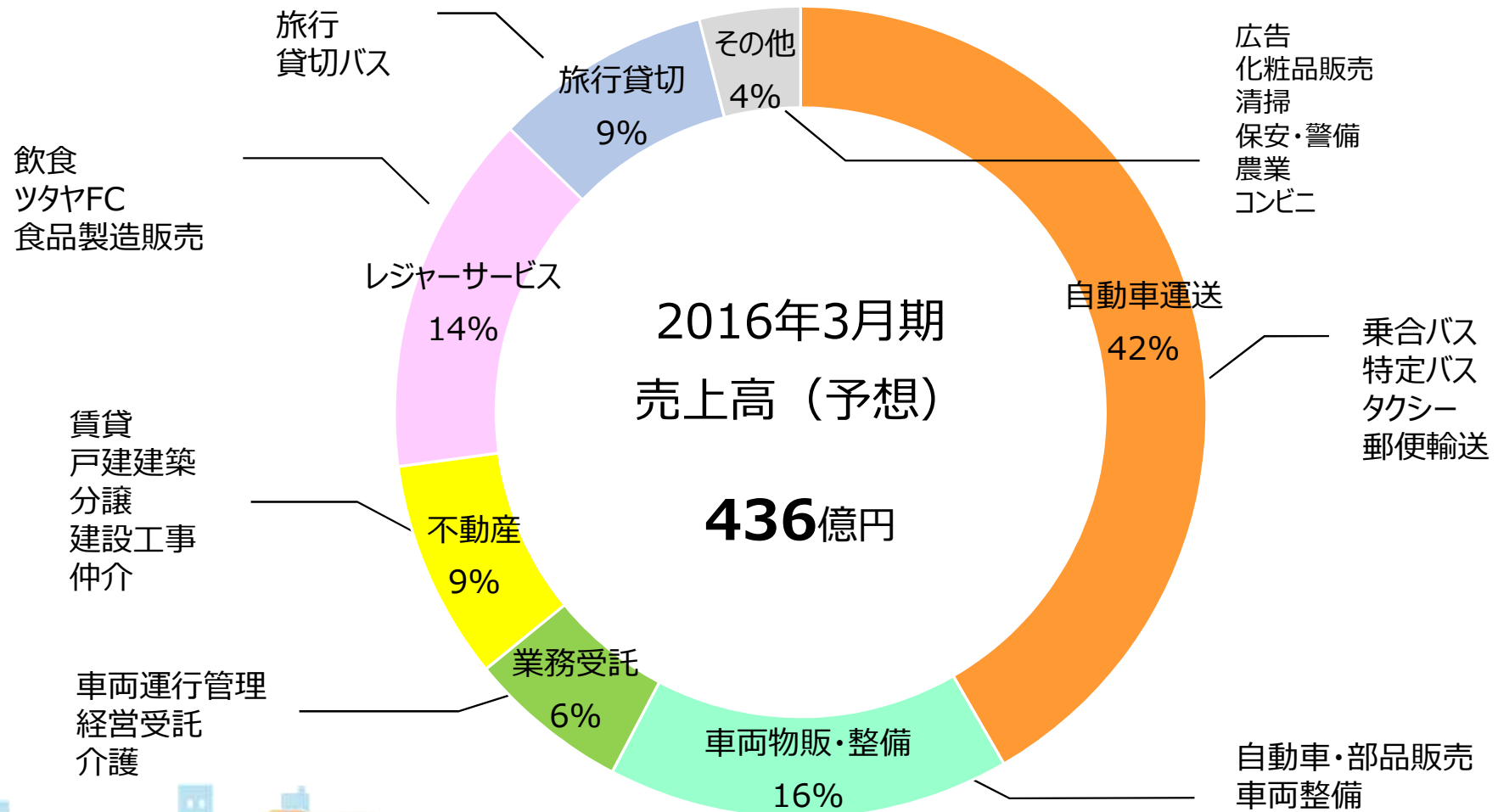
企業行動憲章

神姫バスグループはCSR（企業の社会的責任）活動を推進し、信頼される企業グループであり続けるため、以下の「8つの約束」を定めています。

1. 法令・企業倫理の順守（コンプライアンス）
2. 安全の確保
3. CD（顧客感動）の追求
4. 労働環境の整備
5. 地球環境の保全
6. 福祉の向上
7. 地域社会との共生
8. 反社会的勢力との関係遮断



事業構成



お問い合わせ先

神姫バス株式会社 企画部企画課

電話：079-223-1247

E-mail：kikaku@shinkibus.co.jp

【見通しに関する注意事項】

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

